

2021 年度 愛知東邦大学 AO 入学試験 課題

次のテーマの中から 1 つを選択し、800 字程度（720 字以上 800 字以内）でレポートを作成してください。但し、ここで示されたものだけで作成するのではなく、あなた自身でテーマに関する文献・資料（図書、雑誌、新聞、Web 資料など）を収集して調べ、あなたの考えを主張してください。なお、課題レポート作成にあたり、使用した文献・資料等は、必ず「課題レポート表紙」の所定の欄に記載してください。

なお、テーマによって個別の問いが設定している場合があります。本文をしっかりと確認して課題に取り組んでください。

■ 経営学部 地域ビジネス学科・国際ビジネス学科

テーマ 1：観光業と地域社会を考える	1
テーマ 2：これからの国際通貨システムを考える	2
テーマ 3：人生 100 年時代の社会における課題	3

■ 人間健康学部 人間健康学科

テーマ 1：スポーツマンシップとは何だろうか	6
テーマ 2：インターネットの利用と子どもの安全について	8
テーマ 3：これからの教育のあり方について考える	10

■ 教育学部 子ども発達学科

テーマ 1：新型コロナウイルス感染拡大の環境下に保育所や幼稚園で 行われた子どもたちに対する支援の成果と課題	11
テーマ 2：小学校におけるアクティブ・ラーニングについて考える	12

テーマ 1：観光業と地域社会を考える

次の文章は、オーバーツーリズムという現象について述べられた雑誌の抜粋記事である。この記事では、観光業が盛んになりすぎることによる、地域環境の悪化の可能性を指摘している。

そこで、ここにあげた記事を参考にしつつ、またあなた自身で他の資料も調べ、オーバーツーリズムの実例を一つ以上示した上で、「持続可能な観光業」という観点からみた、観光業と地域社会の適切な在り方について、あなたの意見をまとめなさい。

「オーバーツーリズム」という言葉が広く知られるようになって久しい。特定の土地に膨大な数の観光客が押し寄せることにより、地域住民の暮らしや自然環境に悪影響が及ぶ現象のことだ。スペインのバルセロナやイタリアのベネチアなど、観光客に人気のある都市では住民の反発も高まっている。

観光業界は当然、収益を増やすために観光客を呼び込みたい。政府にも、雇用と税収を増やすために観光を盛り上げたいという思惑がある。その結果、観光客の数が大幅に増加している半面、地域住民の生活がないがしろにされるケースも多い。

「Airbnb（エアビーアンドビー）」のような民泊仲介サービスの普及によって観光客が住宅街に入り込むようになり、地域住民の日常生活のリズムが乱され始めた。観光客向けのイベントが人々の生活の質を悪化させるケースもある。

オーストラリア南東部のニューカッスルで毎年開催されるスーパーカーレース「ニューカッスル 500」はその典型だ。地域住民の中には、このイベントのせいで商売に悪影響が生じたり、平穏な生活に支障が出たりしているという不満がある。

フレイヤ・ヒギンズデスパイオレス「地域社会を殺すオーバーツーリズム」より抜粋
『Newsweek 日本版』2020 年 3 月 24 日号掲載

テーマ2：これからの国際通貨システムを考える

現在の世界における基軸通貨は米ドルであるが、近年は人民元の台頭がささやかれている。下記の記事や、その他の様々な資料を参考にして、①基軸通貨とは何か②自国通貨が基軸通貨であることのメリットとデメリットは何か、について調べなさい。その上で、③これからも基軸通貨はドルのままで推移するかどうかについて、理由を付しつつあなたの考えを述べなさい。

2009年、中国人民銀行の周小川総裁（当時）が、「国際通貨システム改革に関する考察」という論考を発表して話題となった。内容は、ドルを基軸通貨にしたままでは安定性に欠けるというもの。元がドルに代わる基軸通貨になりたいという思惑があるのではないかという憶測も呼んだ。14年にはAIIBを提唱し、アジアのインフラ投資資金の供給者として名を挙げ、日米が主導するアジア開発銀行（ADB）の向こうを張る姿勢を鮮明にした。さらに16年には、IMFのSDR通貨バスケットに採用された。これによりドル、ユーロ、ポンド、円に並ぶ位置に立ったととれる。一見、元の国際化が進んでいるようだが、国際銀行間通信協会（SWIFT）によれば、人民元の使用割合は2.15%（19年1月）に対して、ドルは40.08%と、ドルの背中はずいぶん遠い。

「人民元の台頭は本当か？」

『Wedge』2019年4月号 Vol.31 No.4 掲載

テーマ3：人生100年時代の社会における課題

近年、「人生100年時代」という言葉がよく聞かれるようになっている。以下の文章は、平成30年度の内閣府『経済財政白書』第二章「人生100年時代の人材と働き方」のまとめである。この文章を読んだ上で、人生100年時代に入った我が国の社会、特に労働市場を中心に今後の展望を述べ、さらに、その社会が円滑に推移するためには何が必要か、あなたの考えを述べなさい。

第2章 人生100年時代の人材と働き方 第4節

第4節 本章のまとめ：人生100年時代の社会へ

●技術革新・少子高齢化は労働市場の変化を迫る

AI等の技術革新が労働市場に与える影響としては、定型的な業務が機械に代替される可能性、情報通信技術の発達によりテレワーク等の柔軟な働き方やオンラインの仲介で働くフリーランス等が拡大する可能性がある。どの程度の雇用者が代替されるかは議論が分かれているものの、これまでのIT技術が労働市場に与えた影響を踏まえると、特に、定型業務の代替がこれまで以上に進む可能性が非常に高い。日本では諸外国と比較して、事務職を中心にまだ定型業務が多く残っており、ITの利用頻度も少ない企業が多いことから、そうした企業については、まずはITをうまく活用して働き方を見直し効率性を高める必要がある。同時に、スキルの二極化への対応を考えることが重要である。さらに、技術革新は、労働を代替するだけでなく、新しい仕事を創出することや、機械では代替できない非定型の専門的な仕事の需要を高めることが指摘されており、定型業務の職場から非定型業務の仕事への労働移動を円滑なものにすることも重要である。

テレワーク、フレックス制度等の導入や、クラウドワーカー等の雇用関係によらない働き方の普及状況については、現状の日本では、そのような柔軟な働き方を実施している企業や、オンラインの仲介で働くフリーランスの割合が、諸外国と比較して限定的である。

また、少子高齢化が進み、人手不足が深刻化している日本経済では、新技術を活用することで、女性や高齢者の就業をより促進することが重要である。近年、正社員女性が増えてきているものの、女性雇用者の半分以上は非正社員であり、男性に比べて女性が定型業務を行う傾向が国際的にみても日本は非常に顕著である。また、高齢者については、高い健康寿命と人手不足を背景に、労働参加が進んでいるが、ITスキルには課題を抱えている。新技

術の活用と IT スキルを向上させる取組により、柔軟に無理なく働ける環境を整備することで、年齢・性別によらず、それぞれが持つ能力を十分に発揮できる形での労働参加が進展すると考えられる。

●人生 100 年時代・技術革新に対応したスキルの育成が重要

第 4 次産業革命に対応するためには、先端技術を専門に扱う IT 人材を育成するとともに、専門家以外の働き手も、学び直しによって基礎的な IT 技術を身に付け、機械では代替できない読解、分析、伝達等のスキルを伸ばしていくことが重要である。

先端技術を専門に扱う IT 人材については、日本は先進諸国と比べて就業者に占める割合が少なく、また、大学等の高等教育機関で理工学系を専攻する学生の割合も低い。加えて、企業が必要とする知識分野としてプログラム系や通信ネットワーク系を多く挙げているのに対して、該当する専攻分野で学ぶ人材は不足しており、ギャップが生じている。このため、企業に勤める IT 人材の多くが企業に入ってから必要な専門知識を学んだとしている。こうしたことから、大学等が社会のニーズに応じてカリキュラム編成などを柔軟に見直していくことが重要である。

また、専門人材の育成以外にも、学校教育において IT の活用を進めるとともに、IT 技術で代替が困難な読解力や分析能力といった技能を伸ばしていくことや、大学において専攻分野に関わらず一定程度の IT リテラシーを育成することも重要である。

技術革新に対応した社会人のスキルアップについては、現在の日本では、主に企業の教育訓練によるところが大きく、新技術の導入を積極的に行っている企業ほど教育訓練にも力を入れている。また人材育成方針としては、管理職になる人材については自社内での育成が重視されている一方、研究開発人材や IT 人材は、比較的中途採用で補強する傾向もみられる。教育訓練への投資は企業の生産性を高めることが実証的にも示されており、同時に、社員の自己啓発の支援を行っている企業の生産性はさらに高まることから、企業内訓練と企業外での自己啓発の双方をうまく活用することが重要である。

他方、大学等で学び直しを行う社会人の割合は、日本では国際的にみて低く、その背景としては、勤務時間が長く学び直しの時間がとれないことに加え、学び直しに適した教育訓練コースを設定している大学や質の高いリカレント教育を提供している大学が少ないことがあると考えられる。こうした点を踏まえると、社会人の学び直しを促進するためにも、

大学改革等を進め、より実践的で質の高い教育機会を提供することが重要である。また、企業側においても、従業員の自己啓発を適正に評価し、支援する姿勢が求められる。

●働き方を見直すことは企業・労働者の双方にプラスになる

技術革新によって時間や場所によらない柔軟な働き方が可能となる中で、WLBを促進し、女性や高齢者の就業を促進することについては、多くのメリットがある。テレワーク等の柔軟な働き方を促進することは、企業の生産性にプラスの影響をもたらす可能性が高い。また、柔軟な働き方の導入による労働時間の削減は、自己啓発、趣味、買い物、育児を行う機会を増やすことから、労働者の生活の質の向上にもつながる。

女性や高齢者が働きやすい多様な働き方を実現するためには、制度面を含めた環境整備を行う必要がある。技術革新の進展や高齢化による就業年数の延伸によって就業と学び直し等の行き来が盛んになると、長期雇用を前提とする流動性の低い日本的雇用慣行は、技術進歩等の環境変化が激しい中では最適とは言えなくなっている。また、働き手が多様化すれば、個々人の働き方に応じたマネジメントを行う管理職の役割はこれまで以上に重要になり、従来のような入社年次により昇進を管理するような制度を見直し、適切な人材を管理職へ昇進させていくことも大切である。

女性活躍の促進はダイバーシティによる効果等によって企業業績に対してプラスの効果をもたらすと示唆される。このため、男女の育児休業の取得、柔軟な働き方の促進、限定的正社員制度の導入などの取組を促進し、女性の離職を防ぎ、十分に能力を発揮できる環境整備を進めることが求められる。また、高齢者の活躍を促すためには、年金制度や企業の人事制度の設計について様々な選択肢を比較衡量し、就業意欲のある人々の就業を促すようなバランスの取れた制度設計を行うことが必要である。

多様な働き方の普及や就業と学び直しの広がり等による雇用の流動化や技術進歩に対応した労働移動を円滑なものとするためにも、労働市場のマッチング機能を強化することや、フリーランスなど雇用関係によらない働き手に対するセーフティーネットのあり方等についても検討を続けていくことが必要である。

人間健康学部 人間健康学科

テーマ1：スポーツマンシップとは何だろうか

2021 年をめどに東京オリンピック・パラリンピックが開催される。こうした競技会では、時には「スポーツマンシップ」のある行動が見られ、勝敗とともに見る人を感動させる。そこで、スポーツマンシップに関連した以下の問いに答えなさい。

1. スポーツマンシップとは「何か」について調べて、あなたの言葉でまとめなさい。
2. どうしてスポーツマンシップが重要になる（価値があると称賛される）ことがあるのかを、具体的な例を交えながら、あなたの考えを述べなさい。

宮間あやの振る舞いに見る対戦相手への敬意とは

2011 年 7 月 17 日、サッカー女子ワールドカップドイツ大会決勝戦は、国際サッカー連盟（FIFA）ランキング 4 位の日本が同 1 位のアメリカに挑む一戦となりました。試合は延長戦を終えて 2-2、PK 戦の末、3-1 でアメリカを下した日本チーム「なでしこジャパン」が初優勝を果たしました。

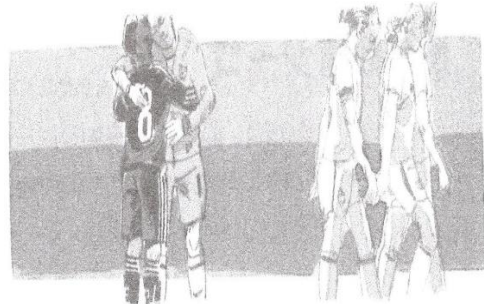
この年の 3 月 11 日に東日本大震災が起り、日本全体が暗いムードになっていましたが、なでしこジャパンの歴史的快挙に、日本全体が祝福と歓喜で包まれました。

日本の勝利が決まった瞬間、優勝したなでしこジャパンのメンバーたちは駆け寄って輪になり、喜びを爆発させました。しかし、宮間あや選手だけがその輪に加わっていませんでした。

宮間選手が真っ先に向かったのは、アメリカチームの選手たちのところでした。敗れて意気消沈している相手選手たちの元に向かって歩いて行くと、メンバーの一人一人と握手し、抱き合い、互いの健闘をたたえたのです。

全員と健闘をたたえ合い終えると、ようやく彼女は仲間の元へと向かいました。

この様子を多くのメディアが取り上げ、宮間選手のスポーツマンシップは世界中から高く評価されることになりました。



「私にはいい友達がいる。それがアヤ・ミヤマよ。

試合が終わった時、アヤはまず私たちのところへ健闘をたたえに来た。私たちがどれだけ悔しい思いをしているかわかっているからこそ。彼女たちがとてもリスペクトをする心の持ち主であることがよくわかる」

アメリカのゴールキーパー、ホープ・ソロ選手も、後にこのように語っています。

イリーナ・カラバエワが見せた判定ミスへの対応

もし、判定ミスの結果で金メダルを得ていたとしたら、あなたはどんな気持ちになるでしょうか。

2001年、トランポリン世界選手権でロシアのイリーナ・カラバエワ選手が金メダルを獲得しました。ところが実は採点の際に、1位と2位の順位を取り違える判定ミスがあったことが、後になってわかりました。

その前年、2000年シドニーオリンピックでも金メダリストとなったカラバエワ選手は、それまでに世界選手権で実に8個の金メダルを獲得してきました。すべて実力を正当に評価されて得た金メダルばかりです。



カラバエワ選手は、自分は何をすべきなのか考えました。そして、判定ミスの結果で得た金メダルを、自分のものにするわけにはいか

ないと思ったのです。判定の訂正が必要だと感じた彼女は、国際体操連盟にこう提言しました。

「私はオリンピックチャンピオンとして、今回の金メダルを受けることはできません。なぜなら私の大切な友人である（ドイツの）アンナ・ドゴナゼ選手が私より優れた演技を行ったからです。私ではなく、彼女が世界選手権のチャンピオンになるべきです。私は受賞した金メダルをドゴナゼ選手にお渡ししたいと思います」

国際体操連盟の規則では、一度メダルが授与された後は、公式結果を変更することが認められていません。しかし、この時だけは例外を認め、この悲劇的な誤りが正されることになりました。大会結果が正式に変更され、ドゴナゼ選手が金メダル、カラバエワ選手は銀メダルと改められました。

テーマ2：インターネットの利用と子どもの安全について

次の文章は、インターネットを悪用した犯罪から子どもを守る取り組みの必要性について述べた新聞記事である。この記事では「SNSを通じて事件に巻き込まれる18歳未満の子は近年増え続け、子どもはネット情報に日々触れるという前提で、対策を講じなければならない。」と指摘している。

そこで、この記事を参考にしつつ、あなた自身で他の資料も調べ、インターネットの利用と子どもの安全について様々な問題を具体的にあげ、それに対するあなたの意見をまとめなさい。

（社説）ネットと子ども 安全に悩み語れる場を

ネットを悪用した犯罪から子どもを守る取り組みが、様々な場面で行われている。

警察庁は全国の警察本部に対し、性行為の相手を募る書き込みを探し出して、公式アカウントから子どもには注意を、誘う側には警告を返信し、悪質なものは摘発するよう指示した。

SNSを通じて事件に巻き込まれる18歳未満の子は近年増え続け、18年は1800人を超えた。昨年末には、栃木県の男がツイッターで知り合った大阪市の小学6年の少女を連れ去ったとして起訴されたが、同様の犯罪は決して珍しくない。

内閣府の調査では、中高生の大半は自分専用のスマートフォンを持ち、小学生でも4割近くに及ぶ。使用を禁ずるのは現実的でなく、子どもはネット情報に日々触れるという前提で、対策を講じなければならない。

SNSと付き合う方法は学校の授業などにも取り入れられている。家庭でも子の発達段階に応じて、ネット空間には年齢や性別を偽る「なりすまし」が多いことを教え、「ネットだけで知った人には会わない」などのルールを決めておきたい。

一方で、思春期の子が身近な人には打ち明けにくい悩みをもつのは普通のことだ。第三者に胸の内を伝え、相談に乗ってもらいたいと思うのは十分理解できる。そのため、10代にとって垣根が低く、使いやすいネット空間に用意する。子どもが悪意のある大人を頼ってしまわないよう、環境を整える。そうしたことも、求められる大切な「対策」といえよう。参考になる例はある。

接続事業者の二フティは、子どもの悩みに子どもが答える掲示板を営む。安全のため、事前に投稿や返事の内容を点検したうえで公開する。SNS初心者が、安全な使い方やマナーを学ぶ場にもなるという。

NPO法人ウィーズの「家庭環境に悩む子どものための掲示板」もある。代表自身が両親の離婚の際、友人や先生に話せずつらい思いをした経験がもとになっている。メールやLINEでスタッフに相談できる機能があり、内容によっては面談や専門機関への取り次ぎを行う。

自殺防止のSNS相談窓口の「生きづらびっと」も、毎月150～250件の10代からの相談に対応している。幅広い世代から連絡があり、その中で緊急度の高いものを優先せざるを得ないため、相当数あるグレーゾーンの案件に十分対応できないのが課題という。

こうした活動を充実させるカギは、やはり資金と人手だ。寄付や助成の制度を使い、社会的に支える仕組みを築くことを真剣に検討する必要がある。

(社説) ネットと子ども 安全に悩み語れる場を『朝日新聞デジタル』2020年1月15日
https://www.asahi.com/articles/DA3S14326868.html?iref=pc_rensai_long_16_article

テーマ3：これからの教育のあり方について考える

以下の記事は元プロ野球選手であるイチローさんのエピソードを基に、これからの時代に必要な教育のあり方について書かれたものである。記事の内容を踏まえ、以下の問いに答えなさい。

1. 厳しく教えることが難しい時代になった理由について、あなたの考えを述べなさい。
2. スポーツや勉強を問わず、あなたが自分で自分のことを教育するためには何が必要か、具体例を挙げて述べなさい（具体例は記事のものを引用してもかまいません）。

この際には、他の資料も調べたうえで、あなたの考えをまとめなさい。

なお、資料を調べる際のキーワードとして、「深い学び」「主体的な学習」も参考にしてください。

教育 PRO

(第3種郵便物承認) 令和2年1月28日

スポーツと教育

>100<

今年引退したプロ野球選手、イチローが大会長として開催してきたイチロー杯（イチロー杯争奪学童軟式野球大会）は、一九九六年にはじまり、今年二十四回を数える大会である。イチローが抱いていた「野球の底辺を広げたい」という想いを地域の人たちがNPOを作って実現した大会で、愛知県の豊山町を中心に行われてきたが、本年、イチローの引退を区切りとして最後の大会が行われた。

イチローはその大会の前に、プロ野球経験者が学生野球を指導する資格を回復するための学生野球資格回復制度の研修会に参加していた。来年二月八日から学生野球を指導することが可能になる。このような経験を通して、教える立場に自然と立ったのだから、最後のイチロー杯のあいさつでイチローが非常に興味深いことを言っていた。

自分で自分のことを教育しなければいけない時代

会人になる前に経験する時間、そこで自分自身を自分で鍛えてほしい、というふうに今、すごく大事なことがあると思います。厳しく教えることが難しい時代に、誰が教育をするのかという最終的には自分で自分のことを教育しなければいけないんだ、という時代なのかなと思います。



杉浦 健

(26)

この発言はイチローから小学生への言葉なのだが、教育に携わる者にとっても、これから求められる教育のあり方を的確に表現した、深く考えさせられる本質的な内容となっている。自分で自分のことを教育しなければいけないというのは、これからの時代に必要とされる主体的な学習のことを意味しているだろう。このことは厳しく教えることが難しい時代であると同時に、厳しく教えることが時代遅れであるということでもある。またたとえ厳しく教えられるくとも、自分で自分のことを教育できる人がこれからの時代において自分の望む成功を手に入れるとも言えるだろうし、

我々スポーツや教育に携わる者も、自分で自分のことを教育できる子どもを育てることが求められている時代とさえいえる。そして我々は教える側の立場として、厳しく教えることができない、子どもが自分で自分のことを教育しなければならぬ時代に、はたして何ができるのか考えなければならぬだろう。イチローは、今年でイチロー杯が最後になった理由も話している。「これまで現役としてみんなにシーズンに感じたことをメッセージとして話してきたけど、それができなくなったということ、この決断に至った」という。我々は子どもたちに学びを進めるものとして、自分自身が「現役」か、すなわち自らは学び続けているのか、子どもたちに学ぶことを伝える資格があるかを問いかけていけないのではないだろうか。

(近畿大学教職教育部教授)

教育学部 子ども発達学科

テーマ 1：新型コロナウイルス感染拡大の環境下に保育所や幼稚園で行われた 子どもたちに対する支援の成果と課題

2020 年 3 月、新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために多くの保育所や幼稚園で卒園式が縮小や中止になった。下記の新聞記事は、休園措置をとっていた幼稚園の工夫を凝らした卒園式を紹介したものである。この時期の保育所や幼稚園では、制限の多い環境下で過ごす子どもたちの不安やストレスを軽減するために様々な対応や対策が講じられた。

このような支援を調べた上で、そのなかのいくつかをとりあげ、新型コロナウイルス感染拡大の環境下に保育所や幼稚園で行われた子どもたちに対する支援の成果と課題について論じなさい。小論文の最後に、将来また同じような事が起きた時、あなたは子どもたちへどのようなサポートができると考えるのか、それについても述べなさい。

福岡）卒園式縮小検討が一転、屋外でのびのびと

北九州市小倉南区の清和幼稚園で 21 日、園庭や裏山を活用した一風変わった屋外での卒園式があった。新型コロナウイルスの感染拡大防止で一時は式の縮小も検討されたが、自然の中での伸び伸びとした式に、出席した約 50 人の園児は喜んでいた。

2 月末から半月ほどの休園措置をとった同園は、当初は卒園式も時間短縮や人数縮小で開催する道を探った。しかし、「こんな時期だからこそ特別なことを」との声が上がり、感染リスクを抑えられる屋外での開催に切り替えたという。

園庭で園児が一人一人、「ありがとうございました」と保護者にあいさつ。その後、園児だけで裏山へ。悪い子はドングリに変えてしまう力を持つとされる、園オリジナルキャラクターの「どんぐり爺（じい）さん」から卒園証書を受け取る試練にチャレンジした。証書を手にした井上結友ちゃんは「ワクワクドキドキして楽しかった」と話した。

次男の卒園を見守った池尻耕一さん（42）は「子どもたちも式があるのか心配したと思うが、結果的に素晴らしい形になった。子どもたちの思い出になると思う」と語った。

福岡)卒園式縮小検討が一転、屋外でのびのびと『朝日新聞デジタル』2020 年 3 月 22 日
<https://www.asahi.com/articles/ASN3P71NPN3PTIPE007.html>

教育学部 子ども発達学科

テーマ 2 : 小学校におけるアクティブ・ラーニングについて考える

現在の学校現場では、アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）の必要性が主張されている。以下の事例は、小学校低学年を対象とした生活科におけるアクティブ・ラーニングの取り組みの様子である。この事例では、子どもたちが、他者に伝える表現する活動を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を働かせて、豊かな学習を実現している。

このような小学校におけるアクティブ・ラーニングの事例について調べ、そこでの指導の工夫や支援について述べなさい。その上で、あなたが取り組んでみたい小学校におけるアクティブ・ラーニング型授業の内容や支援の工夫について、自分の考えを述べなさい。

伝える学習活動

一人一人が異なる野菜を栽培したある学級では、世話をするうちに、「ミニトマトもナスもキュウリも、どれも花がさいたところにみになります。べつのやさいもみんなおなじです」「でも、つるがのびるのはキュウリだけです」と実感を込めた言葉で伝える姿が生まれた。子供は、それぞれの野菜の特徴を関連付け、植物の斉一性や多様性に気付いていた。

町探検で図書館に出かけた子供は、「としょかんは、とってもしずかでした。あさいつでも、おひるにいつでも、おやすみの日にいつでもしずかでした。いつもしずかに本をよむところです。としょかんにいったときは、わたしもしずかに本をよみたいとおもいます」と話し、公共施設の機能や自分自身の行為に関心を向けていった。

田村学「生活科とアクティブ・ラーニング」

教育課程研究会編著『「アクティブ・ラーニング」を考える』東洋館出版社 2016 年